

令和7年度 中学校1年「高志学」宿泊研修

5月13日（火）～15日（木）の3日間、1年生が宿泊研修を実施しました。「みんなで協力しないの厳しいって 聴・視・触で問いを探究しろって 宿泊研修楽しめよ！！」を研修のスローガンに、クラスだけでなく学年全体で親睦を深めるとともに、これから始まる高志学に向けての学びの基礎力を養う研修となりました。

第1日目【5月13日（火）】

＜敦賀ムゼウム・赤レンガ倉庫・鉄道資料館＞

午前は、クラスごとに敦賀ムゼウム・赤レンガ倉庫・鉄道資料館の3か所の施設をローテーションで訪問しました。各施設では職員の方から解説していただいた上で、自由見学や職員の方への質疑応答を行い、鉄道と港の町敦賀への理解を一層深めることができました。



＜ゴムボート・レザークラフト・クラスレクリエーション＞

午後は、三方青年の家において、入所式と昼食の後、クラスごとに「ゴムボート」「レザークラフト」「クラスレクリエーション」の活動をローテーションで行いました。

ゴムボートでは天候にも恵まれ、心地よい日差しと風のもとで活動に取り組みました。最初は、なかなかグループの息が合わず蛇行して進む場面も見られましたが、すぐに息を合わせ力強く前進することができました。

レザークラフトでは、各自でデザインを考え、刻印を木のハンマーで革に打ち込んで模様付けをし、そこに色付けをしました。それぞれの個性があふれる作品に仕上がりました。

クラスレクリエーションでは、「ドッジビー」と「キックベース」の2種類のレクリエーションを行いました。担当の生徒たちは、研修前から内容やルールを考え、本番でも堂々とした姿で運営することができました。



< 野外炊さん（カレー作り） >

夕方からは、学年全体で12班に分かれ、カレー作りを行いました。例年より各班の人数は少なめでしたが、班内でコミュニケーションをとりながら円滑に作業を進めることができていました。どの班も上手にご飯を炊き上げ、出来上がったカレーに満足している様子でした。



野外炊さんの後は、お風呂に入ったり、1日の振り返りを行ったり、定期考査の学習をしたりしました。初日は身体を動かす活動も多かったですが、まだまだ元気いっぱいな様子でした。

第2日目【5月14日（水）】

2日目は、朝のつどいから始まりました。担当の生徒を中心に体操をして、寝起きの身体をほぐしました。次に、各クラスの担当の生徒が、作成した学級旗の披露と紹介を行いました。どのクラスもたくさんの思いが詰まった、素敵な学級旗に仕上がりました。



<海浜自然センター>

午前は、海浜自然センターにおいて、2グループに分かれ、ローテーションでプランクトン観察と館内見学を行いました。プランクトン観察では、プランクトンに関する講義を受けた後、隣接する海まで出向いて海水をくみ取り、その海水内のプランクトンの観察を行いました。初めて見る海のプランクトンに、生徒たちは興味津々の様子でした。館内見学では、実際の生きものを見たり触れたりする中で、若狭湾や三方五湖の生きものについての理解を深めました。



<学年レクリエーション>

三方青年の家に戻った後に、学年レクリエーションで「陣取りゲーム」「ドラクエドッジ」の2つを行いました。担当の生徒が中心となって運営を行い、学年全体で盛り上がっていました。



<縄文博物館>

午後は、縄文博物館に行き、クラスごとに「火起こし体験」「勾玉づくり」「館内見学」の3つをローテーションで実施しました。

火起こし体験では、最初は道具の扱いに苦戦していましたが、徐々に慣れていき、どのグループも火を起こすことができ、達成感を感じている様子でした。

勾玉づくりでは、柔らかい滑石を砥石やサンドペーパーで削り、満足のいく形に仕上げる事ができていました。

館内見学では、職員の方に解説をしていただきながら、縄文時代の漆工芸や織物、船作りなどの資料を見て回り、当時の生活や文化について理解を深めました。



<問いづくり研修>

三方青年の家に戻った夕方からは、問いづくりについての研修を行いました。敦賀（1日目午前）、海浜自然センター（2日目午前）、縄文博物館（2日目午後）の3分野に分かれ、さらにグループに分かれて問いづくりに取り組みました。どのグループでも活発な意見交換がなされ、疑問の質が高まり、問いへと進化している様子が見られました。



2日目の夜も、1日目と同じ流れで過ごしました。研修2日目ということもあり、少し疲れも見られましたが、生徒たちは充実した研修に満足している様子でした。

第3日目【5月15日（木）】

最終日も朝のつどいの体操から始まりました。夜はぐっすりと寝られたようで、みんな良い表情で朝を迎えられていました。

<水月湖にみる気候変動に関する講義・年縞博物館>

最後是水月湖の年縞に関する研修を行いました。

年縞博物館を訪問する前に、三方青年の家で、学芸員の方から、水月湖にみる気候変動に関する講義を行っていただきました。講義内容とグループワークを通して、水月湖を取り巻く環境への理解を深めることができました。

講義の後は年縞博物館へ移動し、職員の方による解説を聞きながら、博物館内を見学しました。当時の環境が分かる年縞の実物を目の当たりにし、福井に貴重なものがあるということに改めて気付くことができました。



以上のように、11期生の「高志学」宿泊研修は、天気にも恵まれ、充実した研修となりました。3日間の研修を通して、集団生活の中で互いに協力し合うことの大切さに気づいたり、ふるさと福井の嶺南地域における自然や歴史について知ったりすることができました。また、様々なことに疑問を持って研修に取り組むことで、物事に対する理解を深めるとともに、これから本格的に始まる「高志学」に向けて学びの基礎力を培う研修とすることができました。

